

# 議会だより

14号

ハッ！水遊び楽しいな！



みずうみ保育園児の水遊びの様子

- 6月定例会 ..... 2  
農林水産業費に9,866万円を補正
- 各種委員会報告 ..... 8  
地域支援を中央へ陳情
- 常任委員会の動き ..... 4  
職員の給与・臨時特例で減額
- 原子力防災訓練 ..... 12  
5km圏内の住民が避難訓練
- 一般質問 ..... 6  
そこが聞きたい3人が質問

# 6月定例会(6月5日~19日)

6月定例会は6月5日から19日までの15日間で開かれました。一般会計補正予算など11議案が上程され各常任委員会で慎重審議され、いずれも原案どおり全員賛成で可決されました。又、「食料・農業・農村の発展に向けた要請」等、意見書提出要請案件3件について常任委員会で審議され、取扱いが決議されました。報告事項として平成24年度美浜町一般会計繰越明許費繰越計算書の説明がありました。内容の主なものを掲載します。

## 平成25年度 一般会計6月補正予算

〈総務費〉

### 築後20年、庁舎を改修

1011万3千円、建設後20年を経過した庁舎の空調設備や、外壁の塗装改修を行う費用です。



塗装改修予定の公用車車庫

〈民生費〉

### 南市集会場を介護予防拠点施設として整備

726万6千円、町の介護予防拠点化施設の一つとして南市集会場を整備するための費用です。



南市集会場

〈農林水産業費〉

### 梅街道舗装改修等

5000万円、県営農村災害対策整備事業及び、県営農道保全対策事業(梅街道舗装工事)負担金費用です。



梅街道

### 農業基盤整備促進事業

1350万円、菅浜、久々子地区農業用、用排水施設整備工事費です。

〈土木費〉

### 耳川橋梁改修設計開始

1582万3千円、耳川橋改修事前調査設計及び、南市和田線改良工事に供する費用です。



耳川橋

〈教育費〉

### 原子力災害制圧道路代替地工事整備

1674万円、原子力災害制圧道路整備が開始され、立ち退き代替地等購入整備に係る費用です。

〈教育費〉

### 弥美小学校体育館屋上防水工事等

1467万3千円、弥美小学校体育館屋上の防水工事、東小学校配管布設替工事等に關わる費用です。



弥美小体育館

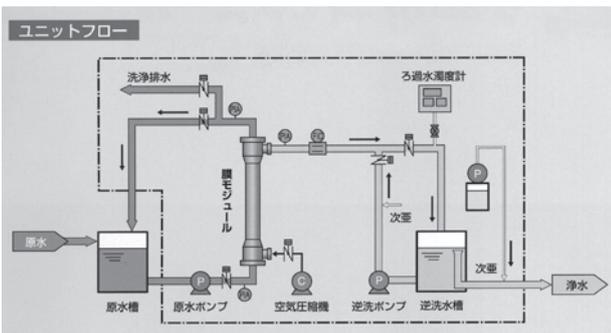
### 佐田コミュニティーセンター新築

1500万円、新築される佐田コミュニティーセンターの補助金です。



建設予定地

●平成25年度美浜町簡易水道事業特別会計補正予算  
業特別会計補正予算  
改良に基金繰入  
1億3051万9千円、現在丹生は阿弥陀寺川、竹波は山の神谷を水源として、緩速ろ過池を経由して各家庭に給水しているが、近年渇水期に水源が枯渇し水不足が生じている事から、今回水量の豊富な落合川本流を水源として、膜ろ過処理を行い、懸濁物除去と滅菌処理を施した安全で豊富な飲料水を供給する設備を設置する。  
(完成は平成26年度)



膜ろ過給水の概念図

# 平成 25 年度 一般会計 6 月補正予算概要

予算規模	補正額	2 億 7,262 万円	補正後 予算総額	66 億 8,837 万円
------	-----	--------------	-------------	---------------

◎ 歳出予算(補正)の内訳(主要事項)

(単位:万円)

款	主要事項	金額	事業概要等
総務費	地域コミュニティバス運行事業	125	美方高校バス停を若狭町と共同で設置する負担金
	庁舎改修事業	1,011	空調設備、外周塗装等改修費
民生費	子ども・子育て支援事業計画	217	計画策定に向けたニーズ調査費
	介護予防拠点施設整備事業	728	南市集会場を地区介護予防拠点施設として改装
衛生費	海岸漂着物撤去処分事業	38	菅浜地区海岸漂着物撤去処分費
農林水産費	有害鳥獣対策事業	720	有害鳥獣捕獲報奨金
	町単小規模土地改良事業	300	各地区農道、排水路、排水施設改修費
土木費	美しい森林景観再生事業	483	金山他 5 地区 20ha の森林景観再生事業費
	内水面漁業振興事業	133	シジミの稚貝放流に伴う漁業組合への補助金
	梅街道周辺環境整備工事	200	梅街道除草等、工事費
消防費	原子力災害制圧道路関連事業	1,674	代替地宅地造成整備事業
	町道気山 2 号線道路改良事業	946	測量設計、土地購入費等
	嶺南圏域層流防止事業	3,800	日向(浜地区)急傾斜地崩壊対策工事費
教育費	コミュニティ助成事業	200	河原市区自主防災組織、資機材購入補助費
教育費	小学校施設改修事業	1,467	弥美小体育館屋上防水、美浜東小配管布設替工事費
	コミュニティ助成事業	1,500	佐田区コミュニティセンター新築補助
	町民レガッタ事業	205	大会賞品、印刷製本、通信、保険料等

## ● 東小空調設備に

6289 万円

標記工事の競争入札が実施され、株式会社 金吾設備が落札しました。空調設備は27台で、工事は夏休み等、授業に影響しないよう9月上旬完了予定です。



美浜東小

## ● 美浜町みずうみ保育園建設工事請負契約決定

標記工事の制限付き一般競争入札が6月14日実施され、株式会社谷口工務店、武田建設株式会社美浜町みずうみ保育園建設工事特定建設工事共同企業体が落札しました。まもなく工事が開始され、平成26年2月末に完成予定です。



みずうみ保育園完成予想図

## ● 平成25年6月定例会、議決議案

### 【専決】

- ・専決処分の承認を求める事について(美浜町税条例の一部を改正する条例の制定)
- ・専決処分の承認を求める事について(美浜町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定)

### 【予算】

- ・平成25年度美浜町一般会計補正予算(第1号)
- ・平成25年度美浜町簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)
- ・平成25年度美浜町集落排水処理事業特別会計補正予算(第1号)
- ・平成25年度美浜町上水道事業会計補正予算(第1号)

### 【条例】

- ・美浜町職員の給与の臨時特例に関する条例の制定について
- ・美浜町生涯学習センター整備基金条例を廃止する条例の制定について
- ・美浜・若狭介護認定審査会共同設置規約の変更について

### 【請負】

- ・美浜東小学校空調設備設置工事請負契約について
- ・美浜町みずうみ保育園建設工事請負契約について

### 【意見書提出】

- ・食料・農業・農村の発展に向けた意見書の提出について
- ・TPPから食とくらし・いのちを守る意見書の提出について

# 常任委員会の動き

各常任委員会に付託された案件と、おもな審議内容をお知らせいたします。

## 予算決算

常任委員会

付託案件1件

●平成25年度美浜町一般会計補正予算  
〈総務費〉

**問** 男女共同参画推進費の内容について。

**答** 平成25年度から第2次美浜町男女共同参画推進計画がスタートする。推進集落の取り組みは従来どおり継続するが、生涯学習課の人権協事業等と連携してきた背景を考慮し、集落推進員の設置の為の予算を計上。

**問** 集落の取り組みは人権協の集落研修で対応することになっているが、新たに集落推進員を設け推進するということが。

**答** 昨年度まで集落推進員は設けていた。人権協の集落評議員との連携を図りながら男女共同参画の推進に取り組みたい。特別職の報酬審議会は最近開いているのか。

**問** 臨時職員は何人か。

**答** 4月1日現在58人。

## 民生費

**問** 子ども子育て支援事業計画策定事業のニーズ調査委託料の対象者はどう

いった内容か。

**答** 対象者は0～12歳までの子どもがいる世帯850世帯。この全世帯にアンケート調査を実施する。調査はとりまとめと分析を業者に委託し本計画のヒントになるものを導き出す。

**問** あおなみ保育園の改修工事の外壁塗り替えを行う壁面とは。

**答** 上部外壁が潮風の影響で塗料が剥がれてきている。木造であることから早めに対応するものである。

**問** 介護予防にかかる報告書等は提出しているのか。



集落代表評議員研修会の様子（人権協）

**答** 県の採択を受け「ふれあいサロン」等を強化するため介護予防施設を整備する事業でバリアフリー化などを主な内容としている。完成後は集落と協議し、介護予防の取り組みを進めたい。

〔農林水産費〕

**シカ報償費は1万6千円にアップ**

**問** 有害鳥獣対策事業の捕獲報償費増額の内容は。

**答** 平成24年度の国の補正予算によりシカの捕獲報償費が補助対象となった。1万2千円から1万6千円に増額する。

## 土木費

**問** 和田からの通学路での危険箇所についての対策は。

**答** 現在農協前の交差点から和田に新たな道を計画・協議中である。

## 教育費

**問** ボートハウスの建設にかかる不動産鑑定業務委託料について、鑑定の基準はどのように考えているのか。

**答** 昨年12月に議決いただいた補償調査業務委託事業により補償額を算定している。民と官との関係として用地対策連絡協議会の近畿管内の基準により、除却の場合、移転の場合、縮小の場合等様々な営業補償の形態がある。平成24年度の所有者の決算状況を見ながら営業パターンに分け

て算定をしたい。

**問** 佐田公民館の総工費は。また総工費に対し何%助成するという決まりはあるのか。

**答** 佐田公民館は総工費9千万円強、助成の上限である1千5百万円が助成となっている。この助成事業は宝くじの受託収入等を原資とするもので、総事業費の3/5が助成基準となっている。

## 歳入

**新起債は5千万円**

**問** 町税収入の具体的な説明を。

**答** 町民税、個人・法人・固定資産・たばこ税等の町税について、現在の収納見込み額は24億9千万円。当初予算での充当は23億2千5百万円程度であり、今回1億1千万円を充当した。残りは9月以降の補正財源となる。昨年に基金を一部取り崩したが、これをできるだけ積み戻したいという思いがある。町県民税については4億5千2百万円の収納見込みであり、留保財源が250万円。

**問** 個人の所得割の8千7百万円について、金額的には理解するが、9月以降の補正分としてまだ残っているのか。

**答** 現在の見込みでは2百万円余が留保財源である。

**問** 5千万円近い地方債について起債の必要はあるのか。

**答** 受益年数が長いものについては現世代だけでの負担は不公平であるという考え方から、今回起債するものである。

**総務文教  
常任委員会**  
付託案件4件

●専決処分の承認を求めることについて  
(美浜町税条例の一部を改正する条例の制定)  
質疑はありませんでした。

●美浜町職員の給与の臨時特例に関する  
条例の制定について  
職員給与減額0・54%

**問** 減額の算出根拠と削減額は

**答** 給料については国の基準と比較して町の水準は下回っているが、期末勤働手当については、国の水準より上回ることになるため0・54%の減額をすることとした。他の嶺南の市町と比べ減額率は低い。総額で66万1千円。

**問** 従わなかった場合、国からのペナルティーは。

**答** 地方交付税が減額されると聞いている。実際に減額されるかは分からないが、県からの指導も受けている。

●美浜町生涯学習センター整備基金条例を  
廃止する条例の制定について

**問** 図書購入や携帯端末等の増設整備などの今後の対応について。

**答** 今後の図書購入等に関しては基金積立では無く、通常の予算措置の中の対応となる。将来に向けて大きな予算措置が必要になってくるならば、基金積立も

財源の状況を考えながら対応していかなければならないと考えている。

**問** 生涯学習センター内の不具合部分の修理・補修についてどう考えているか。  
補修箇所に関しては細かなところを含めて13か所と把握している。フローリング不具合部分のはり替えに関しては、業者の責任において夏までに施工すべく指示している。

●美浜東小学校空調設備設置工事請負契約  
について  
落札率は。

**答** 95・9%。

**問** 小学校の使用状況に応じた電気料金の契約を電力会社と締結して欲しい。  
電力会社と十分打ち合わせし対応する。

**産業厚生  
常任委員会**  
付託案件2件  
意見書審査3件

●専決処分の承認を求める事について  
(美浜町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定)

**問** 改正された低所得者の該当数ほどのようになっているか。

**答** 世帯の合計所得で決められ、美浜町では、7割軽減が427世帯、5割軽減が103世帯、2割軽減が223世帯、合計753世帯が対象である。

**問** 軽減の7割、5割、2割はどのように決められるのか。

**答** 所得33万円を基準として、被保険者数×基準額で対比、区分される。

●美浜・若狭介護認定審査会共同設置規約  
の変更について  
介護設定審査会を充実

**問** 増員の必要性の最大要因は何か。

**答** 平成24年度の介護認定審査件数は合計1747件で23年度比100件の増、ここ数年増え続け、今後も高齢化と共に件数増加が予測されるため。

**問** 認定審査会の構成は。

**答** 現在医師8名、理学療法士、看護師、社会福祉士等13名を4つの合議体に分けて対応しているが、今回医師2名を含む4名を増員し5つの合議体としたものである。

**問** 全体数に占める美浜町の件数はいくらか、又認定されていない件数も有るのか。

**答** 美浜町758件、若狭町が989件の合計1747件である。認定の手順としては、介護申請を受け認定審査、一次判定、二次判定と段階を踏んで最終判定となるので、認定審査で認定されないケースは少ない。

**問** 施設の待機者状況は。

**答** 介護度4、5に限ると、やはら苑が完成した後は17名いた待機者はすべて入所等が出来る。現在は、1年待ちくらいで対応できているので、施設の状況としてはうまく回っていると考えている。

**問** 介護になった要因などについての分析や対応も必要ではないか。

**答** こういった情報を把握し対応することとは必要と考える。生活習慣病を予防することは介護予防に大きく役立つ事から、情報共有とあわせて、健康づくり課などとも連携しながら対応したい。

**問** 認定審査会に本人の出席が必要なのか。

**答** カルテ等で判断するので原則出席は無い。認定度の不服申立て等、例外的に有る。  
以上の審査を終え承認した。

＜意見書提出要請＞

◎食料・農業・農村の発展に向けた要請  
全員賛成で採択

◎TPPから食とくらし・いのちを守る要請  
全員賛成で採択

◎年金2・5%の削減中止を求める陳情  
継続審議とする



やはら苑

# 質 問

6月定例会では3人の議員が一般質問に立ち、町行政の有り方について、問いただきました。



竹仲 良廣 議員

**町の人口増加、定住促進を同窓会でアピール、補助制度を課題として検討**

**問** 若者定住化対策として、宅地の分譲、造成、住宅建設を計画しているが、購入、入居の希望者をどの様に考えているのか。

**土木建築課長** 統計上、毎年約17世帯の購入、入居が推定される。近隣の市町も対象に教育、医療、価格等、環境を整えれば充足可能と考える。

**問** 県外に住んでいる美浜町の出身者にPRする意味でも、同窓会等の集会を利用してする方法がある。町の出身者が行う同窓会に助成金を出したらどうか。

**町長** お金を出す事については検討の余地はあるとしても、町外に住む若者に、実情を知って頂く意味で一つの方法である。同級会、同窓会の補助制度を一つの御提案として検討する。



**20Mbpsから50Mbpsに変更**

**問** 現在の通信速度は100Mbpsが主流となってきた。現MMネットは20Mbpsで料金も割高である。改善の計画はあるのか。

**企画政策課長** 本年度中に、現在のスーパーMMプランの料金を据え置いたまま、20Mbpsから50Mbpsに通信環境を改善する計画である。

**問** ワイヤーケーブル通信では限界がある。光ケーブルにする計画はないか。

**企画政策課長** 現在は幹線が光ケーブル、幹線から各家庭へは同軸ケーブルとなっている。すべて光ケーブルにする



浜野 健治 議員

**原発は新基準に対応して再稼働を要請**

**問** 原子力規制庁の新基準発動後、美浜町としてどの様な対応を考えているのか。

**問** には加入世帯すべての宅内工事と負担金が必要で検討を要する。

**問** レイクヒルズ病院は両町の患者が利用するが美浜町の行政チャンネル、MMチャンネルが放映されない。ユーザーサービスの面で検討をお願いしたい。

**総務課長** 現在、若狭町の行政チャンネルしか見れないという状況になっており、その点については、今後、MMネットも含めて検討する。

**丹生・竹波簡易水道ろ過施設はテフロン製ろ過膜で実施**

**問** 丹生・竹波簡易水道の施設改良計画の進捗状況と、採用するろ過膜がおおい町等で多数実績のある

**町長** 従来原子力を基盤としていろいろな産業を取り組んでいこうと考えています。現在も変わりません。その為に一刻も早く再稼働申請をして頂けるように企業に依頼しております。企業もその為に努力しております。リプレーンについては、国のエネルギー基本計画策定の中で当然一定の比率で原子力発電所の必要性が出てくる事と考えています。それからの対応と考えております。

**問** 嶺南の立地市町間で考え方の違いはあると考えますが、再稼働の引き合い等、市町間で共同歩調はとれているのか。

**町長** 立地協を設置して、首長又、議長を入れて形を取り組んでいる。

セラミック製でなく、テフロン製になった理由は。

**町長** 資金調整の為、1年遅延になったが、26年度完成、供用開始の予定である。

**上下水道課長** ろ過膜について総合評価し、更に先行実施した施設の実績も聞き、テフロン製を決定した。問題ない物と考える。

（意見）おおい町は半年前に、簡易水道水処理にセラミック方式を導入した。なぜか、信頼できるメーカーを選定し、その受注会社がセラミックを使用したということだ。やっぱり実績に基づいたしつかりとした施工でない、非常に危険だと思う。話題性で新しいものに飛びつくというのは非常に危険、この辺はもう少し慎重に議論をしていた方がいいと思う。

**町の財政運営は歳入に見合った計画で**

**問** 町の財源の中で大きなウエートを占める電源交付金ですが、先細りしても事務組合会計の負担金、大型公共施設の維持費を確保することが可能なのか。

**総務課長** 原則的には一般会計は歳入に見合った歳出と考えている。事務組合の負担金についても、関係する市町と協議して削減に努めたい。

従って、政府や消費地に対しても物が言っていると考える。

質問、返答については質問者の文責で掲載しております。

## 将来の雇用はまず企業団地の造成から

**問** 町内の雇用確保の為、企業誘致、新産業創出についてどの様に考えておられるのか。

**町長** 先ず企業団地の造成を考えている。その上で適正な産業を検討したい。今年中には是非、施設の概要を発表できればと考えている。

**商工観光課長** 商業面ではわかさ東商工会と連携して進める。観光については美浜の観光まちづくり会議を立ち上げたのでその中で検討をしていきたい。

**企画政策課長** 企業団地の適地について造成実現難易度、交通アクセス、周辺環境の点から検討更に電力料金の低廉性等を加え誘致活動を加速していく。

## 美浜に適した再生エネルギーを探索

**問** 町内雇用増大を前提とした再生エネルギーの取り組みを考えて行かないか。又、エネルギー環境教育施設を作る町としての考えは。

**町長** 政府でも再生可能エネルギーの比率を高めて行こうと言う傾向はあります。美浜にふさわしい物を検討して行かねばならないと考えています。

**住民環境課長** 太陽光発電の補助金は現在1kW当たり、国が2万円弱、県が1万8千円、町が1万2千円です。小水力等も検討中です。

**総務課長** 現在進めている再生可能エネルギーの可能性調査の結果を見て考えて行きたい。



太陽光パネル

## 高速通信網の整備をいつやるか？今でしょ！

**問** 地域振興はまちづくりであり、まちづくりはひとつづくり。次世代が来ていない対話の場所から、将来の町の全体像は見えてくるのだろうか。若者向けの対応として意見を吸い上げ、町の行政に活かされているのかどうか、若者のよいアイデアを後押し等、町の考えや対応について。

**町長** 若い方の意見を聞かせていただく場も、非常に重要であると考えている。そういう場所を持ちたいと思っいる。今後十分検討して対応していきたいと考えている。

**問** 町が地域振興として、情報インフラとしての町の高速情報通信網の整備について、どのような考えか。

**町長** 高速情報通信網の整備を十分念頭にやっていく必要があると思っています。多方面での町の活性化を目指しての産業興し、やっていく必要があると考えている。

〈意見〉様々な政策に先立つものは、ネットに関連するベースがしっかり整備されてこそスタート地点に立てるものである。

「町長、光対応をいつやるのか！」「今でしょ！」



インターネットサービス向上についてのお知らせ

「スーパーMMプラン」が「ク〜ン」とスピードアップ！

今秋10月中旬より

**50Mbps**

<速度> **20Mbps** → **50Mbps**

<利用料> **3,150円** → **3,150円** (税込)

インターネットサービス向上のお知らせ (MM ネットより) 10月中旬～

## 美浜に光がやってくる?!

インターネット接続速度のイメージ (NTT西日本の場合)

フレッツ光ネクスト

上り・下り  
最大1Gbps

Bフレッツ

上り・下り  
最大100Mbps

あなたは、どれを選びますか？

ADSL

下り 1~47Mbps  
上り 1~5Mbps

これしか選べない地域に魅力を感じられますか？

高速通信網のイメージ

# 各種委員会報告

## 【原子力発電所特別委員会】

### 規制庁にぶれない審査を要求

平成25年4月26日に委員会が開催されました。はじめに、原子力規制庁より地域原子力安全統括管理官 森田 深氏、美浜原子力規制事務所副所長 笈田 浩延氏の出席を求め、森田管理官より次のことについて説明を受けました。

- ①原子力発電所の新規制基準等について
- ②原子力規制委員会設置法の一部の施行に伴う関係規則の整備等に関する規則(案)等に対する意見募集の実施について
- ③運転期間延長認可制度及び高経年化対策制度に係る政令・規則等の整備について
- ④原子力災害指針(改定原案)のポイントについて

その後、関西電力美浜発電所より片岡所長ほか5名の出席を求め、片岡所長より次のことについて説明を受けました。

- (1)美浜発電所の概況について
- (2)美浜発電所における原子力防災訓練



原子力に係る要請活動

- (3)防潮堤・防護壁等設備工事の進捗状況について
- (4)免震事務棟設置の進捗状況について
- (5)大飯発電所3, 4号機新基準適合性確認結果の概要について (松田記)

## 原子力政策にかか る国への要請活動 立地地域支援継続を

〈平成25年6月25日(26日)両日において、原子力政策や立地地域対策について、政府(経済産業省・文部科学省・環境省・原子力規制庁)、自由民主党、県選出国会議員に要請活動を行いました。議会からは、正副議長、正副原子力発電所特別委員長が出席。

要請内容は、

- ①原子力政策について
- ②今後の原子力政策について
- ③原子力機構「もんじゅ」について
- ④長期停止プラントの再稼働について
- (2)立地地域対策について
- ①長期停止に伴う立地地域支援の継続について
- ②電源三法交付金制度の維持と拡充について
- ③企業(産業)誘致に向けた支援制度について
- (3)原子力規制について
- ①立地地域から信用、信頼される組織体制について
- ②公正かつ厳格な審査体制の確立と審査の効率化について

第183回通常国会が6月26日で閉会ということで、あわただしい様相でしたが、各関係省庁には美浜町の思い

を届けることが出来たと思います。また、自由民主党・電力安定供給推進議員連盟(会長 細田博之党幹事長代行)の会議が開催されており傍聴することが出来ました。(松田記)

## 【福井県町議会議長会 「議会広報」研修会】

### 読者をひきつける紙面に

毎年恒例の福井県町議会議長の「議会だより」持ち寄って、広報コンサルタントからクリニクを受ける会合が7月3日福井の自治会館で開催された。美浜町の「議会だより」も13号を発行、



議会広報研修会

初期に比べて進歩の跡は認められたが、果たして読者をひきつけ、隅々まで読んで頂ける紙面になっていくかを問われた時、やはり反省面が多いことが分かった。一番の課題は小見出しであり、工夫が必要と感じた。更には視覚に訴えるレイアウトが重要であることが分かり、いつも期限いっぱいに来上する原稿で、校正の時間がない状態であることもレイアウト、見出しが不備になる原因があると考えた。今後は、今後時間に余裕をもって読者をひきつける紙面にしたいと委員で決意しました。

(浜野記)

### 【議会活性化特別委員会】

## 委員会構成を討論

議員の定数が16名から14名になることから①特別委員会の入れ替えについて②常任委員会、議会運営委員会の定数等について③「議会と語ろう会」の運営と各団体への報告書についてを議題として4月11日議会活性化委員会を開催しました。常任委員会の任期について議員が14名であれば総務文教常任委員会7名、産業厚生常任委員会7名、予算決算常任委員会14名、任期は1年とし、9月議会において委員会条例の改正を目指す。原子力発電所特別委員

会の選任及び期間については、地区別は廃止すべき、他の付属機関についても同様に検討する必要がある等を次回議会運営委員会で検討する。「議会と語ろう会」については、作業部会の班編成は昨年同様とし、地区の割り当てや準備については作業部会で協議する。以上の事を決定事項とし委員会を閉会いたしました。

## 漁業関係者と「議会と語ろう会」を開催

議会活性化に係る今後の方針として作業部会の選出、原子力発電所特別委員会についてを協議事項として5月27日に議会活性化委員会を開催しました。



議会と語る会（漁業関係）

「議会と語ろう会」の開催報告については、行政主体ではなく議会主体の報告書を作成すること。今後の課題として「議会と語ろう会」を実施するうえで作業部会を作り今後は会場準備、場所、テーマ等については検討して進める。全員が共通認識のうえ実施すべきである。原子力発電所特別委員会の委員の選考方法については議会運営委員会で検討することを決定事項として委員会を閉会いたしました。

(崎元記)

### 【議会全員協議会】

## 「基幹水利施設ストックマネジメント事業」計画

### パイプラインを整備

県営かんがい排水事業耳地区および県営圃場整備事業美浜地区で整備した農業水利施設について、年月の経過に伴い老朽化や不具合が生じてきており、特にパイプラインの漏水・破裂が度々発生し、危険性も指摘されてきており、適切な機能保全対策を講じるため、平成23年度より国の事業として制度化されている同事業に着手する旨の説明がありました。

費用の負担区分は、国費：50%、県費：25%、美浜町：19・8%、若狭町：2・2%、土地改良区3%他です。

## 新規畜産経営基盤整備事業 美浜の畜産維持を

町の畜産における問題は深刻で、☆高齢化・後継者不足による畜産農家の減少☆農家数の減少に伴う頭数の減少☆飼料価格の高騰による経営圧迫、といった状況にあります。それに伴って牛糞堆肥生産供給及び堆肥化施設にも問題が生じてきております。それらの対策の為、新規酪農施設の整備を検討して行く事に対する担当課からの説明がありました。

## 風しん予防接種費の 助成決まる

最近全国的に拡がりをみせる風しんですが、流行地域との交流も多い本町としては、特に先天性風しん症候群予防を目的に予防接種費の一部を助成することについて、担当課より内容の説明があり、意見が交わされました。

(兵庫記)



# その他 活動報告

## 【美浜・三方環境衛生組合議会】

### 美方し尿処理場新規更新に決定

平成25年第2回臨時会が去る5月14日開会され、美浜・三方環境衛生組合『美方し尿処理場』の更新計画について概要説明があった。老朽化した施設整備について、平成24年度において『現有施設改造案』か『新規更新案』のどちらにするか、調査が行われその結果、『新規更新案』とすることで決定した。

今回の処理場は下水道放流方式を採用し、処理能力は現行の約半分の1日に21kℓの計画量で、建設予定地は現有の組合所有地で整備を考えている。今後、建設に向け、地元との



エコクル美方

十分な協議を行い決定するとの事であった。

今回は若狭町の議会議員改選があり、新議員の紹介があった。また、新たに藤本勲氏が副議長に当選された。

今回の審議事項として、任期満了に伴う監査委員の選任が行われ、若狭町佐古の今井富雄氏を選ばれた。(竹仲記)

## 【公立小浜病院組合議会】

### レイクヒルズの活用を

5月29日(水)午後2時より第2回公立小浜病院組合議会が招集されました。

#### 付議案件

- (1) 議席の決定について
  - (2) 会期の決定について
  - (3) 公立小浜病院組合議会副議長選挙について
  - (4) 公立小浜病院組合病院事業の設置等に関する条例の一部改正について
- 副議長には若狭町の小林和弘議員が選任されました。
- 6月27日(木)午前10時より第3回公立小浜病院組合議会が招集されました。
- #### 付議案件
- (1) 議席の決定について
  - (2) 会期の決定について
  - (3) 公立小浜病院組合職員の給与の臨時特例に関する条例の制定について

(4) 公立小浜病院組合教育委員会委員の任命について

教育委員会委員には若狭町の教育長玉井喜廣氏が任命されました。

#### 議長辞職

に伴い議長選挙が追加提案され、

小浜市の下中雅之議員が選任されました。

(倉田記)



レイクヒルズ美方病院

## 【敦賀美方消防組合】

### 堂々と分列行進…25年度消防大会

快晴の5月25日、恒例の敦賀美方消防組合消防大会が開催されました。まず敦賀松原公園内消防殉職者碑前で厳かに殉職者の慰霊祭を実施したのち、笹の川に一斉放水、3色の色水が青空に映えました。相生町では団員の一条乱れぬ分列行進、続いての観閲式が行われました。出動したのは管理者、消防職員、消防団員総勢300人、車両は梯子付き消防ポンプ自動車、救助工作車を含む35台で

見学の一般市民の目を引き付けていました。最後は

万象ホールで永年勤続、団員を支える家族への感謝状等の表彰式が行われました。

(浜野記)



分列行進

## 【敦賀美浜地域開発協議会】

### 舞鶴若狭道開通に合わせた商業、観光の協同推進

5月30日、敦賀市役所で協議会が開かれました。この協議会の目的は敦賀市と美浜町の相互理解と協力関係を更に深めると共に、両市町に係わる広域事業の積極的推進をはかり、地域の健全な発展と住民の生活向上をはかるために設置されたものです。従来は主に舞鶴若狭道等、北陸新幹線の敦賀までの延長等、交通アクセスに係わる課題の推進をはかってきましたが、今度は舞鶴若狭道の開通や、新幹線活用等、交通アクセスを基盤として、新規産業の誘致や嶺南地域を結ぶ観光の活性化を推進することを確認しました。(浜野記)

## 【県道佐田竹波敦賀線・竹波立石 縄間線道路整備促進期成同盟会】

### 敦賀半島の 県道整備状況を確認

この同盟会の目的は、敦賀半島を取り巻く県道の整備を促進し、沿線地域住民の快適な日常生活を守る事です。同盟会への加入集落は敦賀の半島に位置する10集落、美浜は山東地区の9集落です。この沿線は近年、斜面の崩落及び波浪による浸食で保全工事が増加しています。平成24年度までの整備状況や今後の保全計画を相互確認しました。

(浜野記)



県道の保全工事の様子

## 【福井県人権教育指導者研修会】

### 議員も参加

平成25年度の研修会が6月4日(火)・5日(水)午後1時から福井県若狭図書学習センターで実施され、議員も参加し

ました。目的は「福井県人権施策基本方針」の趣旨を踏まえ、同和問題をはじめ様々な人権問題の早期解決に向けて、人権問題相互の関連を図り、自らの課題として日常生活の中に生かせる人権感覚を身に付けるための教育啓発活動を一層推進するため、深い認識と実践力を持った指導者の養成を行う為です。

全体会では講師 村井 茂氏(大阪府人権協会代表理事)の講演を聴講し、あらためて踏まえたい部落問題の基本認識(諸偏見批判といま重要な認識と取り組みの方向)について学びました。

分散会は5つに分かれて、「日々の暮らしの中で」をテーマに昔から言い伝えられている言葉は「生活の知恵」「縁起をかつぐもの」「差別につながるもの」などに分類する事からはじまり、5、6人のグループで話し合いました。

この学習会に参加しての感想は、昔からの言い伝えは、現代には合わない事もたくさん出てきているが、良い生活の知恵等は、これからも伝えて行った方が良いのではないかと思えました。また迷信と言われる事でも、縁起の良い事は残して生活の知恵にする事も大切なと感じました。

(倉田記)



## 【福井県北陸新幹線 建設促進同盟会総会開催】

### 若狭ルートは実現するか

去る6月15日、福井県協ビル8階大ホールにて会長の西川福井県知事をはじめ、県内市・町関係者及び県内諸団体の関係者が一同に解し、福井県北陸新幹線建設促進同盟会総会が開催され、平成24年度事業報告及び収支決算報告がされた後、北陸新幹線は、複軸型国土構造の核となる重要な路線であり、災害対応はもとより、経済成長の実現の観点から、国土強靱化を図る国家プロジェクトとして、最優先で整備されなければならぬ。北陸新幹線金沢・敦賀間については、昨年6月29日に工事実施計画が認可された。敦賀開業は、金沢開業から概ね10年後の平成37年度とされているが、北陸地域全体に等しく開業効果を発現させることが重要であるため、一年でも早い完成・開業の実現は最優先課題である。政府においては、国家的観点からも収支採算性に優れた北陸新幹線に重点的に事業費を配分し、まずは敦賀までの早期完成・開業を実現すべきであり、大阪までのフル規格による全線整備を図るため、国において、整備計画どおり若狭ルートの実現に必要な調査を速やかに進め、早期に決定すべきである。このため、関係国会議員ならびに関係自治体等との連携

を強化するとともに、次のとおり、本同盟会はもとより県内一丸となって強力な運動を展開する。平成25年度事業計画を承認し、北陸新幹線整備促進に関する決議を全会一致で採択した。(藤本記)

## 【消防組合美浜分署】

### 消火はまかせて 素早い動きに感動

6月30日、美浜消防団主催の第17回美浜消防団小型ポンプ操法大会が美浜消防署訓練場で開催されました。この操法大会の目的は消防団の消防操法の技術習得と技術向上を計る目的で小型ポンプを保有する各団から今回12チームが参加しその技術を競いました。各チームとも指揮者の号令に合わせてきびきびした動作で操作を実施し、日頃の訓練の成果を出しておられました。

(浜野記)



操法大会の様子 (消防署)

# 議会の動き

4月11日	議会運営委員会 議会活性化特別委員会
21日	第25回美浜・五木ひろしまラソン
26日	原子力発電所特別委員会
5月14日	美浜・三方環境衛生組合議会
18日	平成25年度福井県北陸新幹線建設促進同盟会総会
20日	若狭地方町村議会議長会平成25年度総会
21日	北陸新幹線建設促進大会総会
27日	全員協議会 議会活性化特別委員会
29日	全国原子力発電所立地市町村協議会総会 議会運営委員会
30日	県道佐田竹波敦賀線・竹波立石縄間線道路整備促進期成同盟会総会 敦賀美浜地域開発協議会
31日	福井県町村議会議長会臨時総会
6月5日	第2回美浜町議会定例会開会
6日	本会議（一般質問）
7日	予算決算常任委員会
10日	総務文教常任委員会
11日	産業厚生常任委員会
15日	平成25年度福井県北陸新幹線建設促進同盟会総会
16日	平成25年度原子力防災訓練
17日	全員協議会・議会活性化特別委員会
19日	第2回美浜町議会定例会閉会
25日	原子力に係る中央要望（26日）
28日	敦賀美浜消防組合議会臨時会

## 原子力防災訓練実施

6月16日、県の原子力防災総合訓練が美浜町を中心に行なわれました。国では、福島第1原発の事故を受け、防災対策の重点区域を発電所から約30km圏とする新たな原子力災害対策指針を策定しました。この度の訓練は、県が原発の防災対策の最優先課題とする5km圏内の避難計画を決め、実効性を検証する意味も含め実施されたものです。国や県、市町、自衛隊、海上保安庁など約120の機関、1500人が参加し、避難の圏内に当たる丹生・竹波・菅浜と、敦賀市白木（住民約1000人）の集落うち我町内の約250人が訓練に参加しました。私たち議員も視察と住民としての避難訓練と、其々の立場で参加しました。

新基準に基づいた避難訓練は、事故の深刻度に応じた3段階の緊急事態区分に沿って実施され、要援護者へ対する避難指示は一般住民より早い段階で出されました。参加住民はマイカーやバス、自衛隊の車両、漁船や巡視船、ヘリコプター等、陸海空のあらゆる手段を使い12km離れた町総合体育館などに準備された避難車両の中継所へ向かいました。そこからは避難計画で指定された30km圏外の大飯中学校へ移動し、避難を完了しました。その後放射性物質の付着を調べるスクリーニングや除染が行なわれました。参加集落では、避難される前に全戸を回り、所在確認・安否確認等を徹底して行い、取り残された

人の出ない様万全を期しておられました。

今回の防災訓練に対しては、訓練実施による風評被害などを不安視する声も聴かれました。それとてまったく否定できるものではありませんが、現実起きた事実・知見に基づき訓練をすることは、真に町民の安全・安心につながり、ひいては町を訪れて下さる皆様への信頼に結びつく可能性のほうが大きいと判断し、県からの訓練要請の受け入れを決断した経緯をご説明した次第です。訓練に参加して、発電所の再稼働は、過酷事故を起こさないだけの安全性確保が大前提になるものの、ひとたび重大事故が起これば広域避難が必要になる福島の教訓を思い起こし、今回得られた課題をインフラの整備に生かしていくと共に、起こさせない事の重要性をかみ締めました。（兵庫記）

## 編集後記

梅雨に入っても本来の満足いく雨は降っているのか、こう聞かれても疑問である。  
大気の不安定さは、此の後の天候にどう出て来るのか、怖い。

また、65年前（1948年）の6月29日には、今現在では阪神大震災・東日本大震災には及ばないが、当時戦後最大（M7.1）と言われた福井震災が起きている。

原発問題が、話題のトピックを飾っているものの、目を転じて自分たちの日々の災害に対する備えは？と・・・怠らない様にしたいものです。（山口記）



美浜町議会広報特別委員会

【委員長】山口和治

【副委員長】浜野健治

【委員】松坂隆司・崎元良栄・竹仲良廣・倉田愛子